

# 伊是名集落の後辺(くしひん)の実測による集落空間の景観の構成

## — 沖縄伊是名集落における空間の探究 その3 —

日大生産工 ○西村 天陽 日大生産工(院) 石井 孝宜  
日大生産工(院) 高橋 祐太 日大生産工 篠崎 健一

### 1. はじめに

本稿は、前稿に続き、伊是名集落の景観の構成について探究することを目的とする。

集落空間は、建築物が築かれる領域とそれ以外の領域(外部空間)により成立する。集落景観は、建築物とそれ以外の場のバランスにより構成される。地域の自然環境、文化的特性が反映された集落景観について、実測調査や植生調査に基づき、景観の中心となっている建築物と外部空間がどのようなバランスで影響を与え、集落空間が成り立っているのかを探究する。

伊是名集落の民家は伝統的なものがそのまま残っている一方で、改修や増築、今の技術によって新築されたものも増えている。気候や風土、人々の信仰、生活の営みが作り出した集落を平面的および立面的に考察する。

### 2. 研究方法

後辺(くしひん)と呼ばれる、沖縄の伝統的な集落景観が残る、集落の北側の区域を調査する。立面的な景観では、道から見た敷地囲いを含めた景観とし、東西南北の端から端まで立面写真を撮った。平面的な景観は、道幅の実測値を図面にし、歩道や植え込み、木の位置などの実測を行った。

集落景観を構成する要素として、建築物には民家の構造、仕上げ、屋根材料、敷地囲いの材質が挙げられる。外部空間として、民家ごとに生えている植生が違う。石垣と植生が民家や空き地にどう影響しているのかを分析し、敷地による特性を知る。なぜなら、敷地の周りに生い茂る木々や石垣の材質により、暴風雨が民家にもたらす影響が敷地ごとに変化し、その結果、現在の民家の材料や構造、

暮らし方に違いが生まれているかもしれないからである。

### 3. 民家と外部空間

#### 民家の構造

- ・木造
- 基本的な民家構造プレハブ系の小規模建築も含める。
- ・RC造瓦等
- 木造外壁四隅の一部、または、すべてコンクリート、コンクリートブロックで補強されたもの
- ・RC造スラブ
- 外壁がRCまたは補強コンクリートブロック造で、スラブ屋根の場合を指す。



図1 民家の構造(引用: 沖縄の集落景観 p135)

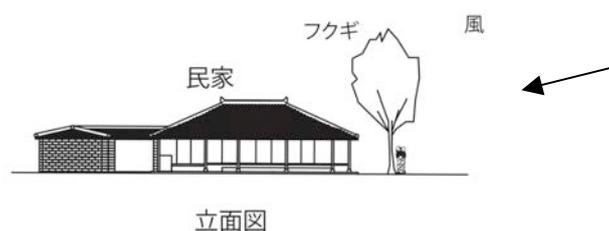


図2 沖縄の一般的な民家

屋敷の周りを石垣、生垣などで囲む。石垣や生垣は民家の境界であるとともに、防風、防雨の役割を果たし、火災時には類焼の防止になる。フクギやガジュマルを植えることで、防風林となる。家と敷地囲いが一体となることで、強風

Construction of the landscape of the village space by actual measurement of Izena village's KUSHIHIN

— Exploring special schema though sp in Izena Village 4 —

Tenyo NISHIMURA, Takanori ISHII, Yuta TAKAHASHI, Kenichi SHINOZAKI

や暴雨から民家を守り、民家ごとの環境が形成される。

一方で、石垣ではなくブロックが用いられているところには、フクギは見られなかった。よって、成長速度の遅いフクギと石垣が長い年月を得ることで、相互に関係する空間を形成してきたと考えられる。

敷地囲いは後辺(くしひん)の全般に存在し、そのほとんどが石垣で形成されている。よって、後辺では石垣とフクギの長い時間をかけて形成された景観の一端が多く残されていることが分かる。

#### 屋根材料



赤瓦



セメント



トタン



スレート

#### 敷地囲い



石垣



ブロック



付属屋



生垣

- ・石垣：珊瑚の石灰岩を人力で積んだもの
- ・ブロック：コンクリートブロックを積んだもの
- ・付属屋：コンクリートブロックで作られた付属屋の外壁が敷地の外部と接して、敷地囲いとしての役割を担う。

屋敷の周りを石垣、生垣などで囲む。石垣や生垣は民家の境界であるとともに、防風、防雨の役割を果たし、火災時には類焼の防止になる。

フクギやガジュマルを植えることで、防風林となる。家と敷地囲いが一体となることで、強風や暴雨から民家を守り、民家ごとの環境が形成される。

一方で、石垣ではなくブロックが用いられているところには、フクギは見られなかった。よって、成長速度の遅いフクギと石垣が長い年月を得ることで、相互に関係する空間を形成してきたと考えられる。敷地囲いは後辺(くしひん)の全般に存在し、そのほとんどが石垣で形成されている。よって、後辺では石垣とフクギの長い時間をかけて形成された景観の一端が多く残されていることが分かる。

#### 4. まとめ

伊是名集落の後辺の景観について、民家の構造や屋根材料、周りを囲む敷地囲いについて立面的に考察した。

#### 参考文献

- 1) 伊是名村史編集委員会 (1991) 「伊是名村史」
- 2) 大久保 崇 (2015) 「伝統的民家の実態的構成への住意識の表れ」

#### 注釈

[1]東京工業大学藤井晴行研究室・日本大学生産工学部篠崎研究室共同主催の建築空間図式を探究する研究会が、官学共同で、2017年4月から行う伊是名集落の調査である。